

グローバル化時代を見据え、より広い視野(GLOBAL)で、かつ、地元愛(LOCAL)にあふれる生徒を育成する



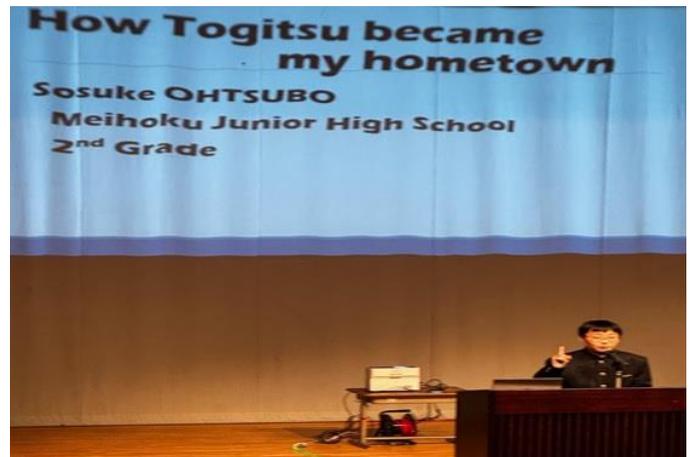
GLOCAL(グローカ) 鳴北

時津町立鳴北中学校
令和6年度 学校だより No. 25
令和6年12月24日
文責 校長 山本将司

イングリッシュスピーチコンテスト 時津町代表！

12月19日(木)、長崎県イングリッシュスピーチコンテストの時津町代表選考会が行われ、3年生の小峰紗弥さんと2年生の大坪蒼佑さんが出場しました。

中学生のテーマである「ふるさと」について、制限時間いっぱいを使って、発表しました。大坪君は他県から時津町へ引っ越してきた経験から時津のすばらしさを発表し、小峰さんは、時津町が開催している海外派遣事業に参加した経験からこれからの将来についての意見を発表しました。



当初、3年生の岩村李々子さんも出場予定でしたが、直前の体調不良でやむなく欠席することになりました。たくさん練習をし、活躍が大いに期待されていただけに、残念ではありましたが、この経験を次のステージで生かしてくれることを期待します。

なお、3年生の小峰さんは、**時津町の代表に選出**され、令和7年2月1日(土)に長崎大学で行われる長崎県大会に出場します。

カナリーステージナイン

少し前のことですが、今年も時津町教育委員会の主催で、カナリーステージナインが開催されました。今年は、1・2年生が小國雅香(おぐにもとか)さんのジャズ鑑賞、3年生がタナカハルナさんのPOPS鑑賞と、どちらも本物の音楽を感じるすばらしい経験となりました。

プログラム中、鳴北中の校歌を歌ってくださったり、いっしょに踊ったりととても楽しく、ためになるひとときでした。とてもありがたいイベントでした。

